



アンサンブル・ノマド 結成20周年記念定期演奏会

第59回定期演奏会	2017年9月23日(土・祝)	16:00開演
第60回定期演奏会	2017年10月20日(金)	19:00開演
第61回定期演奏会	2017年11月23日(木・祝)	16:00開演
第62回定期演奏会	2017年12月22日(金)	19:00開演

会場:東京オペラシティリサイタルホール

チケット発売開始
2017年5月2日(火)

チケット各公演

【前売】一般	¥3,000	【当日】一般	¥3,500
大学生	¥2,000	大学生	¥2,500
高校生以下	¥1,000	高校生以下	¥1,500

セット券(4公演)

一般 ¥10,000 大学生 ¥6,000 高校生以下 ¥3,000

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター
Tel:03-5353-9999

お問い合わせ

キーノートTel:0422-44-1165
keynote_music@fol.hi-ho.ne.jp



東京オペラシティリサイタルホール



東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティB1F
Tel: 03-5353-0788
京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

アンサンブル・ノマド 結成20周年記念



シンポジオン “饗宴”

メンバーによる協奏曲集

- 第59回定期演奏会
2017年 9月23日(土・祝) 16:00開演
- 第60回定期演奏会
2017年10月20日(金) 19:00開演
- 第61回定期演奏会
2017年11月23日(木・祝) 16:00開演
共催:(公財)東京オペラシティ文化財団
- 第62回定期演奏会
2017年12月22日(金) 19:00開演

会場

東京オペラシティリサイタルホール



主催/アンサンブル・ノマド
<http://www.ensemble-nomad.com/>

助成/芸術文化振興基金 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
NOMURA FOUNDATION 公益財団法人 朝日新聞文化財団

アンサンブル・ノマド結成20周年記念定期演奏会

毎年年間テーマを設けて続けてきたアンサンブル・ノマドは、2017年の今年結成20周年を迎える事が出来ました。

今年の年間テーマには『饗宴』と名付け、その主役はメンバー自身です。このテーマは長いあいだ芸術を志すものが頭の片隅に置きつつ善と美について自問する際に繙いてきたプラトン対話篇の白眉『饗宴』からとりました。4回のプログラムの中でメンバー全員がソリストとして登場します。またこの記念の企画には、ノマドに縁の深い作曲家による作品の世界初演とゲスト・ソリストがお祝いに駆けつけてくれます。

最後に特筆させて頂きたいのは、結成当初よりメンバーと同等の熱意を持って親しく伴走して頂いている多才な実力派レギュラーゲストの方々です。今回の特別な一年間、愛すべきレギュラーゲストと一緒に演奏できる喜びは喻えようがありません。

佐藤紀雄

シンポジオン “饗宴” ~メンバーによる協奏曲集~

2017年9月23日(土・祝) 16:00開演 第59回定期演奏会:饗宴 Vol.1 ~20世紀の華

M.フェルドマン:ヴィオラ・イン・マイ・ライフ I・II・III (1970) ヴィオラ:花田和加子
Morton Feldman: The Viola in My Life I-II-III Viola: Wakako Hanada

P.ヴァスクス:遠い光 (1996-97) ヴァイオリン:野口千代光
Peteris Vasks: Distant Light Violin: Chiyoko Noguchi

I.クセナキス:エオンタ (1963) ピアノ:中川賢一
Iannis Xenakis: Eonta Piano: Kenichi Nakagawa

武満 徹:波・ウェイヴス (1976) クラリネット:菊地秀夫
Toru Takemitsu: Waves Clarinet: Hideo Kikuchi

2017年10月20日(金) 19:00開演 第60回定期演奏会:饗宴 Vol.2 ~音響の沸騰

三善 晃:マリンバと弦楽合奏のための協奏曲 (1969) マリンバ:加藤訓子
Akira Miyoshi: Concerto for Marimba and String Ensemble Marimba: Kuniko Kato

A.ウルクズノフ:フルート、ギターとアンサンブルのためのブローケン・コンチェルト (2016-17)
フルート:ミエ・ウルクズノフ、ギター:アタナス・ウルクズノフ

Atanas Ourkouzounov: Broken Concerto for Flute, Guitar and Ensemble
Flute: Mie Ourkouzounov / Guitar: Atanas Ourkouzounov

モーツァルト:ピアノ協奏曲第9番変ホ長調K.271 “ジュノム” (1777) ピアノ:稲垣 聡
Wolfgang Amadeus Mozart: Piano Concerto No.9 in Eb-major, K.271 “Jeunehomme” Piano: Satoshi Inagaki

H.バスケス:エエカトル (2014) フルード:木ノ脇道元
Hebert Vázquez: Ehécatl Flute: Dogen Kinowaki

2017年11月23日(木・祝) 16:00開演 第61回定期演奏会:饗宴 Vol.3 ~拡散するクラシック音楽 (共催:公益財団法人 東京オペラシティ文化財団)

F.グルダ:チェロと吹奏楽のための協奏曲 (1980) チェロ:菊地知也
Friedrich Gulda: Concerto for Cello and Brass Orchestra Cello: Tomoya Kikuchi

中川統雄:機関幽世コンチェルト (2016) ギター:佐藤紀雄
Norio Nakagawa: Symphonic Phony Phonic Guitar: Norio Sato

藤倉 大:コントラバス協奏曲 (2010) コントラバス:佐藤洋嗣
Dai Fujikura: Double Bass Concerto Double Bass: Yoji Sato

2017年12月22日(金) 19:00開演 第62回定期演奏会:饗宴 Vol.4 ~うたう楽器

J.イベル:アルト・サクソフォンと11の楽器のための室内小協奏曲 (1935) サクソフォン:江川良子
Jacques Ibert: Chamber Concerto for Alto Saxophone and 11 Instruments Saxophone: Ryoko Egawa

A.ビニャオ:マリンバ協奏曲 (1993) マリンバ:宮本典子
Alejandro Viñao: Marimba Concerto Marimba: Noriko Miyamoto

藤倉 大:ダイヤモンド・ダスト - ピアノ協奏曲第2番 (2012) ピアノ:メイ・イ・フ
Dai Fujikura: Diamond Dust - Piano Concerto No.2 Piano: Mei Yi Foo

H.バスケス:デジャルダン/デ・プレ (2013) ヴィオラ:甲斐史子
Hebert Vázquez: Desjardins / Des Prés Viola: Fumiko Kai

出演者 アンサンブル・ノマド



佐藤紀雄 (cond/gt)



木ノ脇道元 (fl)



菊地秀夫 (cl)



野口千代光 (vn)



花田和加子 (vn/va)



甲斐史子 (va)



菊地知也 (vc)



佐藤洋嗣 (cb)



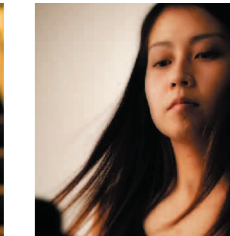
稲垣 聡 (pf)



中川賢一 (pf)



宮本典子 (perc)



加藤訓子 (perc)



ソロ・ゲスト



ミエ・ウルクズノフ (fl)



アタナス・ウルクズノフ (gt)



江川良子 (sax)



メイ・イ・フ (pf)



相川 瞳 (perc)

Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。2002年に行った定期演奏会「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2015年に行った定期演奏会「再生へVol.3: 祈り〜エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンポ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンポ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコのセルバンティーノ音楽祭に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月には再び中国四川公演を行ったほか、今後もスイスやフィンランド、ドイツなどでの公演を予定している。

また、近年ではアウトリー活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、近藤 謙「梶子」(ALCD-47)、「空の眺め」(ALCD-57)、「オリエント・オリエンテーション」(ALCD-67)、「表面・奥行き・色彩」(ALCD-93)、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)、池辺晋一郎「炎の資格」(CMCD-28121)、福士則夫「花降る森」(CMCD-28128)が発売されている。海外ではエベルト・バスケスの「Bestiario(動物寓話集)」が2011年に、「Pruebas de vida(生命の証)」が2015年にリリースされ、2014年にはオリジナル・アルバム「巡る—Meguru」をリリース。昨年夏から秋にリリースされた「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。

公式ウェブサイト:www.ensemble-nomad.com/

表紙写真:Maki Takagi
裏表紙写真:大窪道治